

INTEGRATED REPORTING <IR>

IIRC ニュースレター 4月号

プレスリリース： フレームワークおよび 諸基準全般に透明性を提供

現在、企業報告の世界において最も著名な 8 つの組織では、統合報告のレンズを通して、自分たちのフレームワークや諸基準および関連要件の比較を一覧できるランドスケープ・マップを発行している。

2014 年、これら 8 組織は、フレームワークや諸基準および関連要件の間により広範な一貫性、整合性および比較可能性を求める市場の声に応えるべく設置されたイニシアチブ「コーポレート・レポート・ダイアログ」を通じ、組織間の協力関係を強化した。

ところが、フレームワーク、諸基準および関連要件が、企業報告を強化するためにどのように相互に機能しうるかを理解しようと努める市場参加者たちの間に、混乱が生じている。そこで、同ダイアログでは、初の統一見解として、8 つのフレームワーク、諸基準および関連要件が統合報告のレンズを通して一覧できるようにすべく、オンラインマップを開発した。

IIRC の CEO である Paul Druckman 氏は次のように述べている。「同マップは、より広範な報告要件との関連を通じて『統合報告』を明確化するのに役立つのと同時に、企業報告の分野で最も著名な組織間でより有益な対話を実現するための力強い第一歩となることをご理解いただけるでしょう。市場は明らかに、そして当然ながら、意味不明な略語だらけの報告慣習によって混乱が生じています。私は同マップを第一歩として、こうした状況を改善するようお約束します。」

新刊書籍：

“Creating Value:
Value to investors”
(価値創造～投資家
に向けた価値)

関連ブログ：

“The investor
'blind taste test'
on Integrated
Reporting”
(Global
Implementation の
Managing Director
である Neil Stevenson
氏によるブログ
「統合報告の
『投資家ブラインド
味覚テスト』)

ブログ：

“Building trust by
communicating
transparently”
(Black Sun の
Strategy and
Research Director
である Sallie Pilot 氏
によるブログ
「透明性の高い
コミュニケーションによる
信頼の構築」)

Nestlé の Global Head of Public Affairs で、Vice President である Janet Voûte 氏は、こうした異なるフレームワーク、諸基準および関連要件の利用者として、マップのリリースに際し次のようなコメントを寄せている。「企業報告に関する対話が重要です。企業は現在、報告要件の絶え間ない増加に直面しています。透明性の高いコミュニケーションを行うためのツールとして企業報告を実践しているあらゆる企業にとって、これらのフレームワークを整理する方法への理解を深めるのに役立つはずです。」

Bloomberg も、Sustainable Business & Finance の Global Head である Curtis Ravenel 氏のステートメントを通じ、同ダイアログへの支援を表明しつつ次のように語っている。「企業報告の普及により、企業業績が可視化されるばかりでなく、現時点で利用可能な報告実践に向けた様々なアプローチを分類することで自社の課題を抽出することが可能となります。当社では、企業報告のフレームワークや諸基準間のより広範な関係を促進するツールとして、このランドスケープ・マップを歓迎しています。」同社では、世界中の数千にのぼる投資家たちに対し、これらの諸基準、フレームワークおよび関連要件に向けた情報を配信している。

コーポレート・レポート・ダイアログの Chair である Huguette Labelle 氏は、「このマップは、当ダイアログが提供する最初のアウトプットであり、基準設定主体とフレームワーク提供者が一同に会することにより、市場にもたらされる明快さと洞察のパワフルな指標となるものです。しかし、このマップは、私が企業報告にもたらしたいと願う、より広範な結集力や効率性に向けたジャーニーのほんの出発点に過ぎません。当ダイアログでは、こうした取組みをさらに強化すべく、すでに様々なディスカッションが進行していますが、例えば、市場に対してより多くの明快性を提供する必要性が依然として存在する『重要性』や『価値創造』等のコンセプトは、ダイアログの今後の注力分野のうちの、ほんの2つの例に過ぎません。」と述べた。

新たな統合報告ウェブサイト への洞察

明確かつ簡潔にコミュニケーションを行う能力こそ、統合報告の核心である。この核心は、「統合報告」促進に向けた IIRC の取組みに反映されている。新たな「統合報告ウェブサイト」は、「統合報告」とは何か、なぜ同サイトを利用する組織が「統合報告」を採用すべきなのか、価値創造への注目が拡大している現在の世界的な動向にいかにして参画すべきか等の点につき、シンプルかつ明瞭なアプローチで、理解を広げることを目指している。

IIRC ではこれまで、「統合報告」に向けた取組みがいかにか長く困難をとまなうジャーニーであるかを語る様々な組織の声を耳にしてきた。そのため、新ウェブサイトはこうした声を反映するものとなっている。同サイトは、すべての利用者、すなわち「統合報告」に向けた長いジャーニーの実施担当者、支持者、およびその受益者等への支援を目指している。これを念頭に、IIRC は同サイトの設計において目指した以下の4ステージにつき個別に検討している：

- なぜ？
「統合報告」の意識や変革の必要性を喚起すること
- 何を？
「統合報告」について考える人たちに向け、「統合報告」や「国際統合報告フレームワーク」とはどのようなものであるのかについて洞察を与えること
- いかにして？
このセクションでは、「統合報告」の採用に焦点をあて - 利用者が「統合報告」を準備し、そのジャーニーを共有する他の人たちから学ぶ方法を示すこと
- いつ？
グローバルな採用を呼びかけるひとたちを支援し - 自分のネットワークで「統合報告」を促進する人たちをサポートするためのツールや洞察および知識を授けること。

同サイトの新アドレス：integratedreporting.org
同アドレスには、「統合報告」の本拠地としてのサイトの場

所が反映されている。新サイトの立ち上げについて、IIRC の CEO である Paul Druckman 氏は、次のようにコメントしている。「私は本サイトが『統合報告』へのジャーニーを実践している皆様に提供する新たな機会に興味しており、この場をお借りして Harvard Business School の Robert Eccles 教授に対し、私たちがこの URL を利用することを許諾してくださったこと、およびここ数年越しで、同教授が私に与えてくださった戦略的ご指導に謝意を表させていただきます。」

その他の機能には以下が含まれる：

- 「統合報告ビジネスネットワーク」など、「統合報告ネットワーク」のための新セクションにより、利用者は世界中のネットワークに参加する 750 組織へのアクセスが可能に。
- リソースセクションの改訂により、IIRC のテクニカルリソースに加え、幅広い第三者機関による研究や調査報告書の参照が可能に。
- ニュースセクションの強化により、「統合報告」に関するニュースリリースや各種アップデート情報、ブログを一覧可能に。

IIRC は、この新ウェブサイトを通じ、ご利用各位が「統合報告」や IIRC の諸目的、および統合報告に関する IIRC のビジョンに向けた動向に皆様が参画する方法についてご理解を深めていただくようお願いいたします。

B20 アップデート情報

「統合報告」の利点が政策立案者や世界中の資本市場の参加者による意思決定に役立てていただけるよう、IIRC はトルコが議長国を務める G20 開催期間中に、積極的な役割を果たしている。IIRC の Chairman である Mervyn King 教授は、B20 の Infrastructure & Investment (インフラおよび投資) タスクフォースに参加しており、IIRC の CEO である Paul Druckman 氏も B20 Financing Growth(金融成長) タスクフォースのメンバーとなっている。B20 の様々なタスクフォースに参加している IIRC ファミリー

のその他のメンバーたちとともに、彼らはこうした役職を活用しつつ、企業報告の改革こそが長期にわたる価値創造や投資活動による経済および資本市場の意思決定のリバランスに不可欠なものであるという点について幅広い理解が得られていることを強調している。

ワシントン DC で開催された直近の B20 ミーティングの後、Paul Druckman 氏は次のようにコメントした。「『統合報告』ファミリーに含まれるきわめて多数の組織や個人が、今年の B20 プロセスに参加し、今後の数年グローバル企業の意思決定に利益をもたらす可能性を秘めるこうしたプロセスに、彼ら自身の経験を伝えてくれていることを嬉しく思います。」

「成長に向けた包括性、実施、そして投資」は G20 トルコ会議における 3 つの包括的な優先事項である。「統合報告」はこれらの 3 つの重要優先事項と一致しており、B20 で設立された 6 つのタスクフォースの各議題にも貢献可能だ。B20 の役割は、G20 の首脳たちへの実践的なアドバイス、中でも最も重要なことは、G20 の目標に合致する実証済みかつ実現可能なソリューションを提供することにある。IIRC は、「統合報告」を採用している 1,000 企業で実証済みの「統合報告」の利点を提供することで、重要な役割を果たしていく所存である。

ここでは、6 つの重点分野の中の一分野である B20 Infrastructure and Investment タスクフォースに関連し、IIRC と B20 の協働が目指す主目的への洞察を提供する:

「統合報告」は、インフラを含む長期的投資を増加させる公共政策の目標に、企業報告の実践を合致させる。「統合報告」は、長期的なインフラ投資に向けた魅力的な資本に関連するリスクや機会への理解を深め、管理するための 2 つの主要な障壁である短期的利益主義に対抗し、閉鎖的なサイロ思考を終わらせる。

Mervyn King 教授は、Infrastructure and Investment タスクフォースのメンバーとしての彼の権能により、B20 に対し、企業報告システムがインフラを含む長期的投資への影響力を一層高めるよう呼びかけ、実用的な段階的手順を採用するよう推奨している。IIRC では同時に、G20 各国の

レベルで、企業報告改革、とりわけ「統合報告」への障壁に対処するための提言を行うよう B20 に呼びかけている。

オーストラリアが議長国を務めた 2014 年の B20 と同様、「統合報告」のメッセージは、タスクフォースのメンバーで、B20 への実質的な勧告を提案してきた *Australia Post* の Chairman である John Stanhope 氏と、KPMG Australia の Michael Bray 氏の両氏によって支持されている。

IIRC は、すでに始まっている「統合報告」の要点を実践することにより、大きなメリットを生んでいる国々で証明された経験から得た確信を礎に、この国際的プラットフォームに向け、リーダーたちとの協働を進めている。「統合報告」は、リスクマネジメントや戦略の形成に役立つとともに、複雑かつ相互に接続性のある事業特性への理解を促す。

先進的な実践に学ぶ

「国際統合報告フレームワーク」を適用し始めた企業数の増加を反映し、2015 年 4 月に、注目すべき新たな統合報告書が、統合報告データベースに追加された。BP や British American Tobacco、DBS Bank といった企業の事例が新たに追加されたのは、彼らの統合報告書が情報の結合性を強化し、ステークホルダーとの関係において、より明快な報告を行っているためである。こうした分野に焦点をあてるのは、世界中で発行された 2014 年アニュアルレポートに共通する傾向だ。

石油・ガス会社 BP の統合報告書は、とりわけ取締役報酬の開示が際立っているため、その抜粋をデータベースに掲載した。同報告書では、同社の長期的戦略の優先事項の説明、およびそれらがどのように株主価値を創出するのかといった点に関する記述を含んでおり、その上で、業績評価に用いた方法と、その評価に基づき取締役の短期的（決算賞与）および長期的（ストックオプション）インセンティブ報酬に連動することを明記することで、こうした優先事項をダイレクトに取締役報酬につなげている。

DBS Bank は価値創造についてとりわけ強い光をあてており、同行の報告書では、「国際統合報告フレームワーク」と共通の用語が使用されている。同報告書には、多様なステークホルダーに向け価値を創造するためのインプットやプロセス、およびアウトプットの概要を提供しつつ、ビジネスモデルの内訳を示す図表が含まれている。同報告書は意図的に高レベルを目指しているが、報告書の全篇を通じ、より深く同行を検証したい利用者たちのために、詳細で有益な情報を提供している。

データベースには、金融サービス会社 RSA の報告書も含まれた。同社の報告書には、重要性に関する「統合報告」の原則に沿った、リスク評価におけるヒートマップを用いた可視化が含まれている。

このデータベースに関しては、今後数週間中に、次のような利用者たちの閲覧を可能にすべく実質的な強化を施す予定だ。

- 評価の高いアワードのプロセスによる、先進的な「統合報告」実践として認識されている報告書の全篇を閲覧したい利用者。これにより、先進的な「統合報告」実践というものが、単にフレームワークの個々の内容要素や指導原則に焦点をあてているのではなく、むしろ「統合報告」実践を全体として進化させている点を、さまざまな組織が理解できるようになるだろう。
- 報告書において IIRC および/またはフレームワークについて明示的に言及している組織、もしくは、それらの報告書が明らかに「統合報告ネットワーク」への参加によりフレームワークの影響を受けていると考えられる組織のリストを閲覧したい利用者。
- 利用者の皆様に関連性の高い報告書や事例を発見するのに役立つ、高度な機能の提供。

IIRC による公開コンサルテーションへの回答

IIRC は、French Public Sector Accounting Standards Council (CNOCP、フランス公共部門会計基

準審議会) 公会計の概念フレームワークの公開コンサルテーションに回答した。その中で IIRC は、フランスの公共セクター全体への一律な会計基準の適用は、短期的には妥当である点を認める一方で、「国際統合報告フレームワーク」こそが、市民やステークホルダーへの意味深い報告の提供という中・長期的な課題に向けた潜在的なソリューションを提供すると確信しているとした。

2014 年、IIRC は公的セクターの統合報告適用を国際的に促すという課題を見すえつつ、公的セクターパイオニアネットワークを立ち上げた。同ネットワークには、World Bank (世界銀行) 等の知名度の高い公的セクター組織が参加し、「統合報告」が公的セクターへの利益をもたらすために、いかにして適応が可能かを評価する方法を率先して模索している。



Website Twitter LinkedIn YouTube

Contact: juliet.markham@theiirc.org

Copyright © 2015 International Integrated Reporting Council, All rights reserved.
[unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)